材料承認願い

大切な地下資源を次世代へ

有限会社　いどや

目次

井戸材加工にかかわる項目

管体引張試験　（ネジ接合部）..... 1

1（別紙その 1）

1（別紙その 2）

管体引張試験　（スリット加工部）..... 2

水圧試験　（ネジ接合部）..... 3 ~ 4

扁平試験（スリット加工部）..... 5

管体扁平試験　線荷重（無孔管部分）..... 6 ~ 7

管体扁平試験　線荷重（スリット加工部）..... 8 ~ 9

井戸材量分析結果

浸出試験 ..... 2 枚

含有量試験 ..... 1 枚

参考資料

製品安全データシート（SDS）.....-1-　~　-6-

品質適合証明書（試験成績書）.....-7-　~　-9-

ビカット軟化温度試験 ..... -10-　~　-11-

パイプ寸法図 .....-12-　~　-13-

※弊社の加工する PVC パイプは濃紺パイプ（HI パイプ JIS6742）を使用しています

試験報告書

2022年3月18日

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

2-1　試験名　管体引張試験（ネジ接合部）
試験日　2021/11/30
試験温度　23℃
試験速度　10mm/min

試験体名	呼び径	試験番号	破壊荷重 KN	平均値 KN	破壊状況
ネジ接合部	50 (HIVP50)	①	13.3	13.35 (1361)	おねじ部より破断
		②	13.4		おねじ部より破断
	75 (HIVP75)	別紙参照			
	100 (HIVP100)	①	40.7	39.70 (4048)	おねじ部より破断
		②	38.7		おねじ部より破断
	150 (HIVP150)	①	54.6	66.00 (6730)	おねじ部より破断
		②	77.4		おねじ部より破断

※上記（）内は換算kg表記です

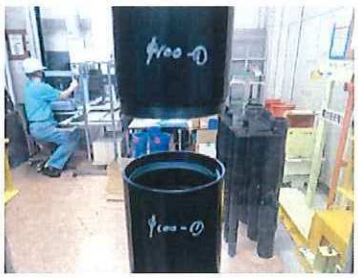
φ50
（HIVP50）

φ50
おねじ部より破断

φ75
（HIVP75）

φ75
めねじ部より破断

φ100
（HIVP100）



φ100
おねじ部より破断

φ150
（HIVP150）

φ150
おねじ部より破断

2025年7月14日

株式会社クボタケミックス

品質保証部

堺品質保証課

HIVP75ねじ部管体引張試験結果

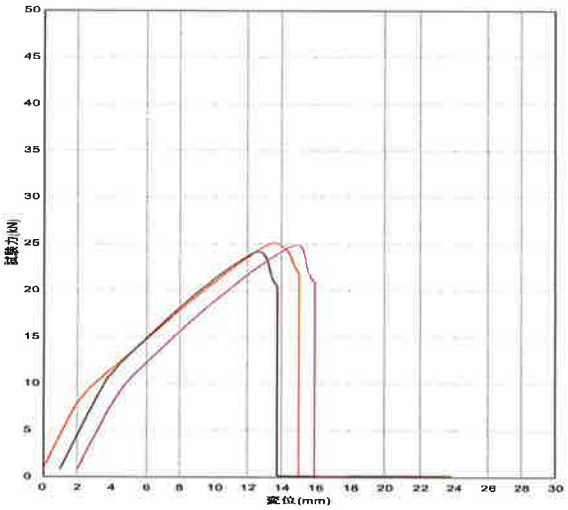
目的　お客様のおねじ、めねじを組んだ状態での引張試験を要望されたため

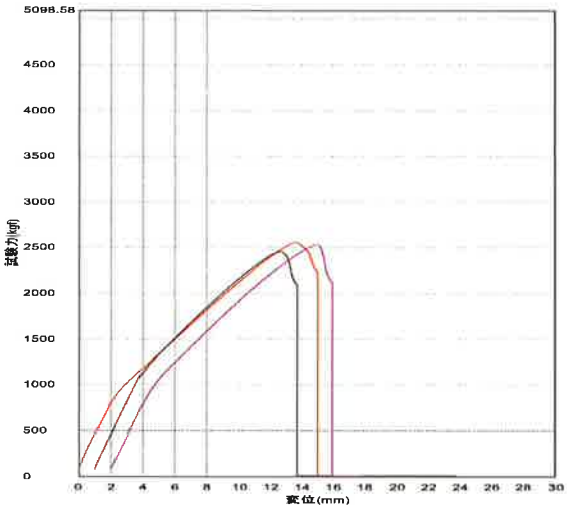
試験条件　試験機：25tオートグラフ　試験温度：23℃

試験速度：10mm/min　供試体長さ：950mm

試験日　2025年6月13日

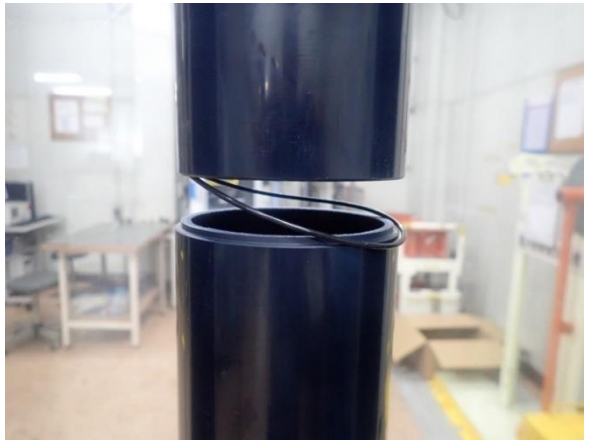
品名	破断荷重測定値		破断点変位	破壊状況
	kN	kgf	mm	
No.1	25.1	2557.7	15.1	おねじ加工部根元が白化し延伸そして破断
No.2	24.1	2459.5	12.7	おねじ加工部根元が白化し延伸そして破断
No.3	24.8	2533.3	14.0	おねじ加工部根元が白化し延伸そして破断





結果：全てねじ部根元からの破断であった。

考察：ねじ部の根元は内面切削加工により肉厚薄となっており、その部分から白化・延伸・破断となっていました。
そのため、最大試験力の差はねじ深さやねじ長さの差ではなく、ねじ部根元の肉厚の差と考えます。

No.1	250kNオートグラフ	250kNオートグラフ	
No.2	250kNオートグラフ	250kNオートグラフ	
No.3	250kNオートグラフ	250kNオートグラフ	

試験報告書

2022年3月18日

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

2-2　試験名　管体引張試験（スリット加工部）
試験日　2021/11/30
試験温度　23℃
試験速度　10mm/min

試験体名	呼び径	試験番号	破壊荷重 KN	平均値 KN	破壊状況
スリット加工部分	50	①	8.6	8.50	スリット加工部より破断
	(HIVP50)	②	8.4	(867)	スリット加工部より破断
	75	①	11.8	11.80	スリット加工部より破断
	(HIVP75)	②	11.8	(1203)	スリット加工部より破断
	100	①	27.1	27.55	ソケット部よりパイプ抜け
	(HIVP100)	②	28.0	(2809)	ソケット部よりパイプ抜け
	150	①	50.0	49.55	スリット加工部より破断
	(HIVP150)	②	49.1	(5053)	スリット加工部より破断

※上記（）内は換算kg表記です

φ50
（HIVP50）

φ50
スリット部より破壊

φ75
（HIVP75）

φ75
スリット部より破壊

φ100
（HIVP100）

φ150
（HIVP150）

φ150
スリット部より破壊

試験報告書

2022年3月18日

2-3
(1/2)

試験名　水圧試験(ネジ接合部)
試験日　2021/11/30
試験方法　JIS K6741による

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

試験体名	呼び径	試験番号	漏水時圧 Mpa	平均値 Mpa	破壊状況
ネジ接合部	25	①	3.90	3.75	ネジ部より漏水
	(HIVP25)	②	3.60	(38.2)	ネジ部より漏水
	40	①	1.30	1.25	ネジ部より漏水
	(HIVP40)	②	1.20	(12.7)	ネジ部より漏水
	50	①	2.00	2.15	ネジ部より漏水
	(HIVP50)	②	2.30	(21.9)	ネジ部より漏水
	65	①	1.40	1.35	ネジ部が折れて漏水
	(HIVP65)	②	1.30	(13.8)	ネジ部が折れて漏水
	75	①	1.90	1.80	ネジ部より漏水
	(HIVP75)	②	1.70	(18.4)	ネジ部より漏水
	100	①	1.10	1.30	ネジ部より漏水
	(HIVP100)	②	1.50	(13.3)	ネジ部より漏水
	125	①	0.15	0.13	ネジ部より漏水
	(HIVP125)	②	0.10	(1.3)	ネジ部より漏水
	150	①	0.10	0.10	ネジ部より漏水
	(HIVP150)	②	0.10	(1.0)	ネジ部より漏水

※上記()内は換算(kgf/cm2)表記です

φ25(HIVP25)
試験セッティング

φ25
ネジ部より漏水

φ40(HIVP40)
試験セッティング

φ40
ネジ部より漏水

φ50(HIVP50)
試験セッティング

φ50
ネジ部より漏水

2−3　　試験名　　水圧試験（ネジ接合部）

(2/2)

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

φ65（HIVP65）
試験セッティング

φ65
ネジが折れて漏水

φ75（HIVP75）
試験セッティング

φ75
ネジ部より漏水

φ100（HIVP100）
試験セッティング

φ100
ネジ部より漏

φ125（HIVP125）
試験セッティング

φ125
ネジ部より漏

φ150（HIVP150）
試験セッティング

φ150
ネジ部より漏水

試験報告書

2022年3月18日

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

2-4

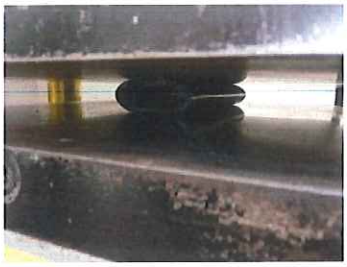
試験名　扁平試験(スリット加工部分)
試験日　2021/11/30
試験方法　JIS K6741による
試験体長さ　200mm　　扁平速度　10mm/min
判定基準　試験片の外径1/2まで圧した時、割れ及びひびがないこと

試験体名	呼び径	試験番号	異常の有無	合否
スリット加工部分	25 (HIVP25)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	40 (HIVP40)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	50 (HIVP50)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	65 (HIVP65)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	75 (HIVP75)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	100 (HIVP100)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	125 (HIVP125)	①	無し	合格
		②	無し	合格
	150 (HIVP150)	①	無し	合格
		②	無し	合格

φ25(HIVP25)
圧縮量50%

φ40(HIVP40)
圧縮量50%

φ50(HIVP50)
圧縮量50%



φ65(HIVP65)
圧縮量50%

φ75(HIVP75)
圧縮量50%

φ100(HIVP100)
圧縮量50%

φ125(HIVP125)
圧縮量50%

φ150(HIVP150)
圧縮量50%

試験報告書

2022年3月18日

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

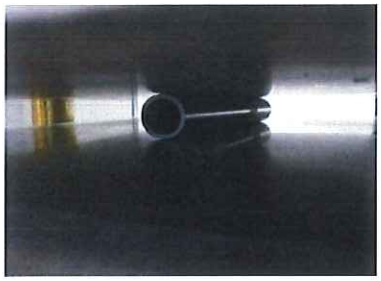
2-5
(1/2)

試験名　管体扁平試験　線荷重（無孔管部分）
試験日　2021/11/30
試験方法　所定の圧縮量まで試験片を圧し、その時の荷重を調べ、試験片の長さを1mに換算して線荷重を算出する。
扁平速度　10mm/min
試験温度　23℃

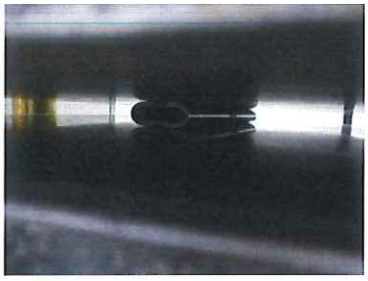
試験体名	呼び径	試験番号	試験片長さ (mm)	測定値(N) 圧縮量 10%	測定値(N) 圧縮量 50%	線荷重(kN/m(kgf/m)) 換算 圧縮量10% 測定値	圧縮量10% 平均値	圧縮量50% 測定値	圧縮量50% 平均値	破壊状況
無孔管部分	25	①	201	7430	12040	37.0	37.2	59.9	60.1	異常なし
	(HIVP25)	②	200	7480	12070	37.4	(3791)	60.4	(6131)	異常なし
	40	①	201	5820	9400	29.0	29.0	46.8	47.1	異常なし
	(HIVP40)	②	200	5810	9470	29.1	(2957)	47.4	(4799)	異常なし
	50	①	202	5610	9560	27.8	27.7	47.3	47.1	異常なし
	(HIVP50)	②	200	5540	9390	27.7	(2828)	47.0	(4807)	異常なし
	65	①	200	3660	6760	18.3	18.4	33.8	33.6	異常なし
	(HIVP65)	②	199	3680	6650	18.5	(1876)	33.4	(3427)	異常なし
	75	①	201	5990	10660	29.8	30.4	53.0	53.8	異常なし
	(HIVP75)	②	201	6220	10980	30.9	(3097)	54.6	(5489)	異常なし
	100	①	200	6320	11930	31.6	31.7	59.7	59.7	異常なし
	(HIVP100)	②	200	6370	11940	31.9	(3235)	59.7	(6085)	異常なし
	125	①	201	5020	9960	25.0	25.0	49.6	50.1	異常なし
	(HIVP125)	②	201	5010	10180	24.9	(2544)	50.6	(5109)	異常なし
	150	①	201	7810	14650	38.9	38.8	72.9	71.8	異常なし
	(HIVP150)	②	201	7770	14230	38.7	(3952)	70.8	(7326)	異常なし

※上記()内は換算kg表記です

ϕ25(HIVP25)
圧縮量10%

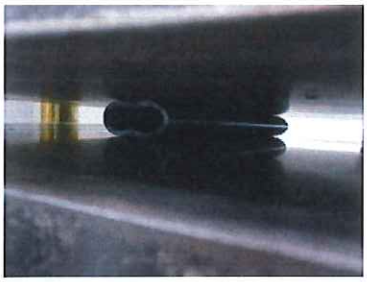


ϕ25(HIVP25)
圧縮量50%



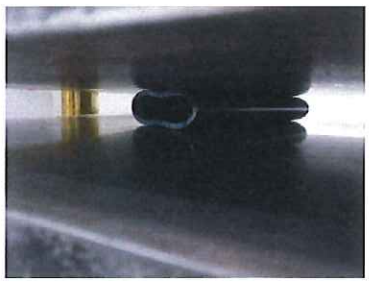
ϕ40(HIVP40)
圧縮量10%

ϕ40(HIVP40)
圧縮量50%



ϕ50(HIVP50)
圧縮量10%

ϕ50(HIVP50)
圧縮量50%

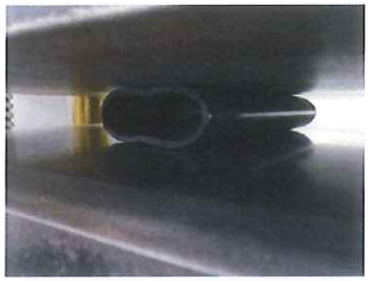


2−5　試験名　管体扁平試験 線荷重（無孔管部分）
(2/2)

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

φ65（HIVP65）
圧縮量10%

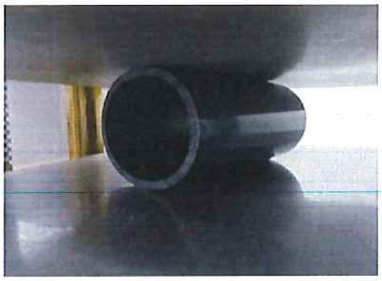
φ65（HIVP65）
圧縮量50%



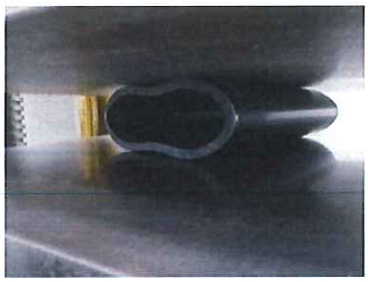
φ75（HIVP75）
圧縮量10%

φ75（HIVP75）
圧縮量50%

φ100（HIVP100）
圧縮量10%

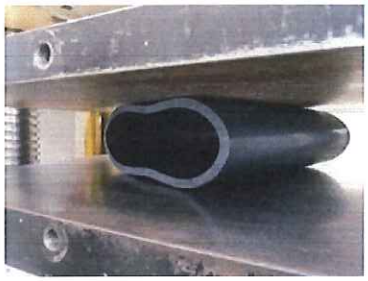


φ100（HIVP100）
圧縮量50%



φ125（HIVP125）
圧縮量10%

φ125（HIVP125）
圧縮量50%



φ150（HIVP150）
圧縮量10%

φ150（HIVP150）
圧縮量50%

試験報告書

2022年3月18日

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

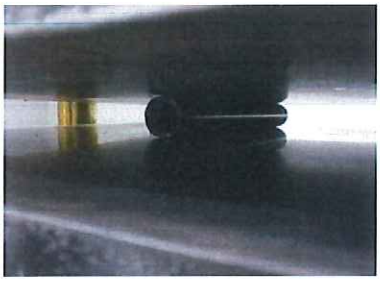
2-6
(1/2)

試験名　管体扁平試験　線荷重　(スリット加工部分)
試験日　2021/11/30
試験方法　所定の圧縮量まで試験片を圧し、その時の荷重を調べ、試験片の長さを1mに換算して線荷重を算出する。
扁平速度　10mm/min
試験温度　23℃

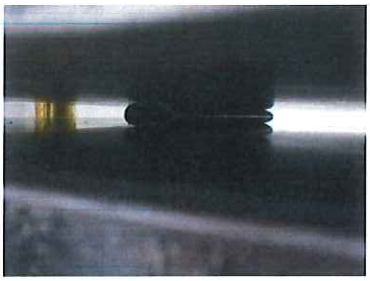
試験体名	呼び径	試験番号	試験片長さ (mm)	測定値(N) 圧縮量 10%	測定値(N) 圧縮量 50%	線荷重(kN/m(kgf/m)) 換算 圧縮量10% 測定値	圧縮量10% 平均値	圧縮量50% 測定値	圧縮量50% 平均値	破壊状況
スリット加工部分	25	①	200	5450	8990	27.3	27.3	45.0	44.4	異常なし
		②	200	5480	8760	27.4	(2786)	43.8	(4525)	異常なし
	40	①	200	4720	7135	23.6	23.9	35.7	36.0	異常なし
		②	200	4840	7270	24.2	(2437)	36.4	(3672)	異常なし
	50	①	200	3990	6830	20.0	19.9	34.2	34.3	異常なし
		②	200	3975	6875	19.9	(2030)	34.4	(3494)	異常なし
	65	①	200	3075	6120	15.4	14.4	30.6	27.4	異常なし
		②	201	2690	4880	13.4	(1466)	24.3	(2798)	異常なし
	75	①	199	4515	7510	22.7	21.8	37.7	36.5	異常なし
		②	201	4215	7070	21.0	(2226)	35.2	(3717)	異常なし
	100	①	201	4775	8915	23.8	23.5	44.4	43.6	異常なし
		②	200	4635	8580	23.2	(2393)	42.9	(4449)	異常なし
	125	①	199	3695	6700	18.6	18.8	33.7	33.8	異常なし
		②	201	3840	6805	19.1	(1921)	33.9	(3443)	異常なし
	150	①	200	5915	9155	29.6	30.1	45.8	46.6	異常なし
		②	200	6140	9480	30.7	(3073)	47.4	(4751)	異常なし

※上記()内は換算kg表記です

φ25(HIVP25)
圧縮量10%

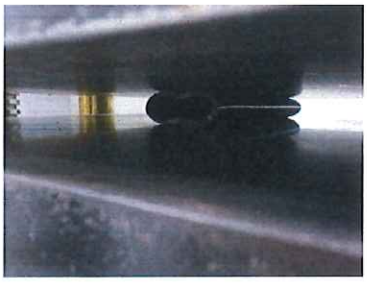


φ25(HIVP25)
圧縮量50%

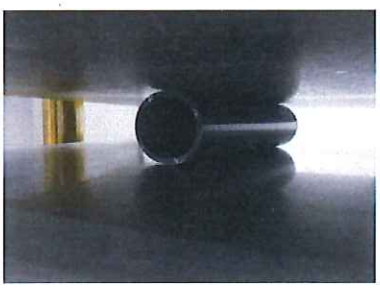


φ40(HIVP40)
圧縮量10%

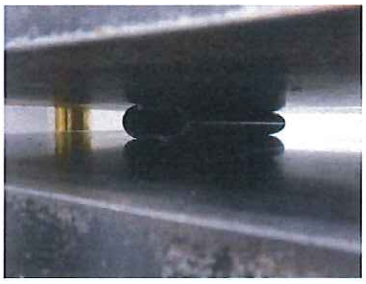
φ40(HIVP40)
圧縮量50%



φ50(HIVP50)
圧縮量10%



φ50(HIVP50)
圧縮量50%

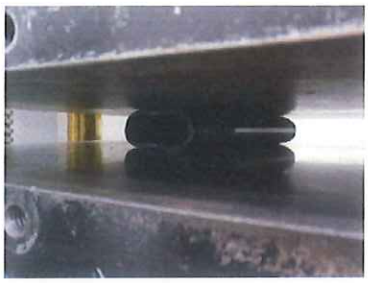


2-6　試験名　管体扁平試験　線荷重（スリット加工部分）
(2/2)

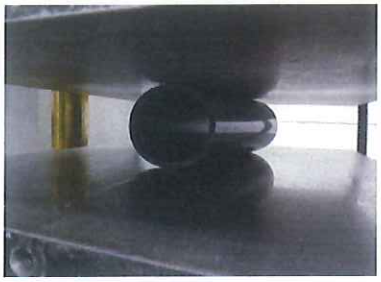
日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

φ65（HIVP65）
圧縮量10%

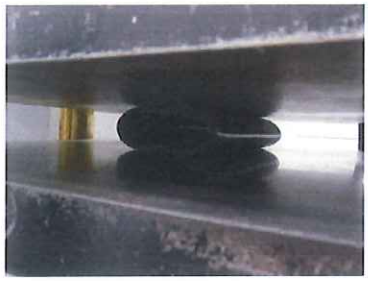
φ65（HIVP65）
圧縮量50%



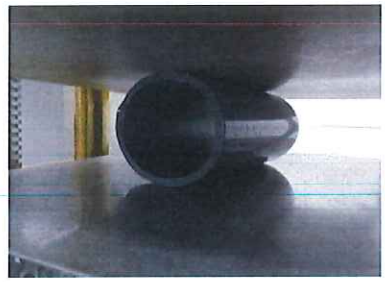
φ75（HIVP75）
圧縮量10%



φ75（HIVP75）
圧縮量50%

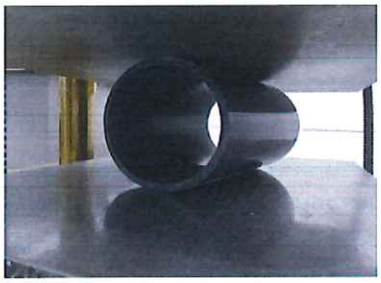


φ100（HIVP100）
圧縮量10%



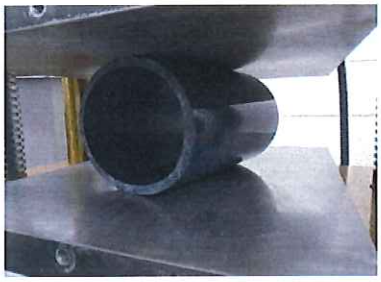
φ100（HIVP100）
圧縮量50%

φ125（HIVP125）
圧縮量10%



φ125（HIVP125）
圧縮量50%

φ150（HIVP150）
圧縮量10%



φ150（HIVP150）
圧縮量50%

試験結果報告書

報告書No.NS210670-001
2021年5月28日発行

日本プラスチック工業株式会社　様

御依頼を受けました試料の試験結果を
下記のとおり報告致します。

計量証明事業所　大阪府　第　１０１２４号
株式会社総合水研究所
〒590-0984　堺市堺区神南辺町一丁4番地6
Tel 072－224－3532　Fax 072－224－3257
環境分析センター
〒592-8334　堺市西区浜寺石津町中二丁6番34号
Tel 072－243－3532　Fax 072－280－3257
環境計量士　三浦　哲也

（依　　頼　　者）　日本プラスチック工業株式会社　愛知県小牧市大字東田中字西田100番の1

（受領年月日）　2021年5月12日

（受付方法）　郵送

（件　　名）　浸出試験

（試　料　名）　水道用硬質ポリ塩化ビニル管　HIVP20

（製品の種別）　管

（浸出試験方法）　JWWA Z 108：2016「水道用資機材の浸出試験方法」
JWWA Z 108-7.1.1 c)

（試験条件）　浸出液設定温度:23±1℃
浸出時間：16時間
コンディショニングなし

（洗　浄　日）　2021年5月13日

（試料液採取日）　2021年5月14日

（分析方法）　別表に示します。

（分析結果）　別表に示します。

（浸出液の水質）

分析項目		浸出液の水質	調整濃度範囲	分析方法
pH	(pH)	7.0(23℃)	7.0±0.1	ガラス電極法
硬度	(mg/L)	44	45±5	滴定法
アルカリ度	(mg/L)	36	35±5	滴定法
残留塩素	(mg/L)	1.1	1.0～1.2	吸光光度法

（備　　考）　試料採取検査員：公益社団法人 日本水道協会　春日井基之　様
試料採取日：2021年5月11日

この報告書の全て、又は一部を弊社の許可無く、無断で複写・複製することを禁ずる。

【分析結果】　　試料名：水道用硬質ポリ塩化ビニル管　HIVP20

分析項目		空試験	分析結果	報告値	基準 ※1	分析方法 ※2
亜鉛及びその化合物	(mg/L)	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.1以下	JWWA Z 110 附属書B D法
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	(mg/L)	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.5以下	JWWA Z 110 附属書24
味	(－)	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと	JWWA Z 110 附属書13
臭気	(－)	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと	JWWA Z 110 附属書14
色度	(度)	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5以下	JWWA Z 110 附属書15 B法
濁度	(度)	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.2以下	JWWA Z 110 附属書16 C法
残留塩素の減量	(mg/L)	1.1	1.0	0.1	0.7以下	JWWA Z 110 附属書4

※1　水道施設の技術的基準を定める省令　平成十二年二月二十三日厚生省令第十五号　別表第二

※2　JWWA Z 110：2016「水道用資機材の浸出試験及び水道用薬品の評価試験に係る分析方法」

この報告書の全て、又は一部を弊社の許可無く、無断で複写・複製することを禁ずる。

有限会社いどや 御中

2022年 4月 22日

受注番号	8805489-(2)

SCAS Sumika Chemical Analysis Service
計量証明事業所 大分県知事登録第75号
株式会社 住化分析センター 大分ラボラトリー
〒870-0106 大分県大分市大字鶴崎2200番地

分析・試験報告書

2022年3月29日 ご依頼を受けました試料の分析・試験結果を下記のとおりご報告いたします。

件　　名：井戸材分析 ※PVC
試　料　名：PVC管 濃紺
試料の由来：持込試料

試験区分：含有量試験

分析・試験項目	分析・試験結果	単位	分析・試験方法	定量下限値
シアン化合物	0.5未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 4.11.1	0.5
ふっ素化合物	25未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 4.12.2	25
カドミウム	0.2未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.1.4	0.2
鉛	0.5未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.2.4	0.5
全りん	25未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 4.9.1	25
銅	25未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.3.4	25
ひ素	0.5未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.9.2	0.5
セレン	2未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.10.1	2
クロム	0.5未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.12.1.3	0.5
ほう素	0.5未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.13.3	0.5
総水銀	0.5未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 5.14.1.2	0.5
ポリ塩素化ビフェニル	0.01未満	mg/kg	H24.底質調査方法Ⅱ 6.4.2	0.01
スズ	0.1未満	mg/kg	酸分解-ICP質量分析法	0.1
	以下余白			

備考：結果は、乾燥試料量換算の濃度である。

責任者
藤方豊

本件につきご質問などございましたら、営業担当者または下記担当者までお問い合わせください。

担当者：牧 理江
TEL：097-523-1962
FAX：097-523-1289

整理番号　　P42-061016-V8
作成日：2006 年 10 月 16 日
改訂日：2018 年　5 月 30 日

化学物質等安全データシート（ＳＤＳ）

１．化学物質等及び会社情報

製品名(化学名、商品名等)　　：水道用硬質ポリ塩化ビニル管　ニホンパイプ　（ＨＩ管）

会社情報
会社名　：　日本プラスチック工業株式会社
住　所　：　愛知県小牧市大字東田中字西田 100-1
担当部門　：　品質保証課
電話番号　：　0568-72-2355　　FAX 番号　：　0568-73-7987
推奨用途及び使用上の制限　：　水道配管用

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	：分類対象外
	可燃性／引火性ガス	：分類対象外
	可燃性／引火性エアゾール	：分類対象外
	支燃性／酸化性ガス	：分類対象外
	高圧ガス	：分類対象外
	引火性液体	：分類対象外
	可燃性固体	：区分外
	自己反応性化学品	：分類対象外
	自然発火性液体	：分類対象外
	自然発火性固体	：区分外
	自己発熱性化学品	：区分外
	水反応可燃性化学品	：区分外
	酸化性液体	：分類対象外
	酸化性固体	：区分外
	有機過酸化物	：分類対象外
	金属腐食性物質	：区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	：分類できない
	急性毒性（経皮）	：分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	：分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	：分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵）	：分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	：分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	：分類できない
	目に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：分類できない
	呼吸器感作性	：分類できない
	皮膚感作性	：分類対象外
	生殖細胞変異原性	：分類できない
	発がん性	：分類できない
	生殖毒性	：分類できない

特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)　：分類対象外
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)　：分類できない
吸引性呼吸器有害性　：分類できない
環境に対する有害性　急性水生環境有害性　：分類できない
慢性水生環境有害性　：分類できない
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素
絵表示又はシンボル：なし
注意喚起語　警告
危険有害性情報　管を高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがある。
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

注意書き
安全対策　必要に応じて適切な保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
救急措置　破片を吸入した場合は、鼻かみ・うがいにより出来るだけ取り出し、症状によっては医師の診断を受ける。
破片が眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続けること。洗浄後、医師の診断、手当てを受けること。
管を高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがあるため、必要に応じて適切なマスクを着用すること。
眼や喉に異常を感じた場合は、直ちに新鮮な空気の場所に移動する。また、医師の診察を受ける。
保管　直射日光を避け、熱気がこもらないよう風通しのよい状態で保管する。
廃棄　都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し、関連法令を遵守し法令および地方自治体の条例に従って適正に処理する。
焼却する場合は、廃ガス処理装置付きの焼却設備（800℃以上）にて焼却し、又は非危険廃棄物として埋め立てる。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分　：混合物
化学名又は一般名　：ポリ塩化ビニル
化学特性（化学式等）　：（CH_2－ＣＨＣＩ）$_n$
ＣＡＳ番号　：　９００２－８６－２
成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）
：９１％以上
官報公示整理番号（化審法・安衛法）
：（６）－６６

＜その他の主な成分１＞
化学名又は一般名　：ＭＢＳ系ポリマー（不純物及び安定化添加剤含む）
ＣＡＳ　ＲＮ　：２５０５３－０９－２
成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）
：３～６％
官報公示整理番号（化審法・安衛法）
：非公開

＜その他の主な成分２＞

単一製品・混合物の区分　　：混合物
化学名又は一般名　　：炭酸カルシウムとステアリン酸亜鉛を主成分とする混合物
化学特性（化学式等）　　：混合物のため特定できない
ＣＡＳ番号　　：混合物のため該当せず
成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）
　　：ステアリン酸亜鉛　１％未満
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）
　　：非該当
ＧＨＳ分類に寄与する不純物及び安定化添加物
　　：特になし

４．応急措置

吸入した場合　　直ちに清浄な水でうがいをする。
高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入したときは、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努める。咳、その他症状が出たときは、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合　　常温では危険な物質ではない。
高温の溶融樹脂が付着した場合には、衣服の上から多量の水をかけ充分に冷却し、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合　　破片が目に入った場合は、直ちに清浄な水で 15 分間以上注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続けること。異物が目に残るようであれば、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　　多量の清浄な水を飲ませて吐かせる。異常を感じるようであれば医師の診断、手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤　　：粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤　：データなし。
火災時の特有の危険有害性：火災によって、塩化水素、一酸化炭素、二酸化炭素など、有害ガスの発生が予想されるので空気呼吸器を着用して作業する。
消火を行う者の保護　　：消火作業を行う者は、保護具（ゴーグル型保護眼鏡、耐熱手袋、空気呼吸器等）を着用して、風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
　　：常温では危険な物質ではない。
高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入したときは、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努める。咳、その他症状が出たときは、医師の診断、手当てを受ける。
その他、応急措置の項を参照。

環境に対する注意事項　：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和　　：破損により飛散した破片は、掃き集めて、容器等に回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：常温では危険な物質ではない。
破損すると破片が飛散するおそれがあるため、乱暴な取扱いを避け、丁寧に取扱う。
高温になると変形や破損のおそれがあるため、高温や火気を避ける。

局所排気・全体換気　：常温では危険な物質ではない。
高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがあるため、必要に応じて局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項　：火気注意。

保管

保管条件　：直射日光を避け、熱気がこもらないよう風通しのよい状態で保管する。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。
許容濃度：設定されていない。
設備対策：常温では特に必要ないが、高温に加熱すると樹脂が分解して塩化水素などの有毒性ガスを発生することがあるため、必要に応じて局所排気、全体換気を行う。

保護具

呼吸器の保護具　：必要に応じて、有機ガス用防毒マスクを使用する。
火災時は空気呼吸器を着用して作業する。

手の保護具　：管端部で手を切るおそれがあるため、滑り止め効果のある適切な保護手袋を着用するのが望ましい。

眼の保護具　：切断時には保護眼鏡（ゴーグル型または側板付きが望ましい）を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）：固体、円筒状、グレー
臭い　：殆ど無臭
pH　：該当しない
融点　：データなし
沸点、初留点と沸点範囲　：該当しない
引火点　：391℃ 1）
蒸気圧　：データなし
比重（密度）　：1.43
溶解性　：水に不溶。ほとんどの有機溶剤に不溶。但し、THF（ﾃﾄﾗﾋﾄﾞﾛﾌﾗﾝ）、ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ、ｼﾞﾒﾁﾙﾎﾙﾑｱﾐﾄﾞ等には可溶。
オクタノール／水分配係数：データなし
自然発火温度（発火点）　：454℃ 2）
分解温度　：データなし
燃焼性　：酸素指数　約 45%

１０．安定性及び反応性

安定性　：通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性　：通常の取扱いにおいては安定で危険有害な反応性はない。
避けるべき条件　：樹脂が分解するような高温条件。
混触危険物質　：高温物質
危険有害な分解生成物　：高温で樹脂が分解し塩化水素等の有害ガスが発生する。

１１．有害性情報

急性毒性（経口）　：データなし
（経皮）　：データなし
（吸入）　：データなし
皮膚腐食性／刺激性　：データなし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：データなし
呼吸器感作性　：データなし
皮膚感作性　：データなし
生殖細胞変異原性　：データなし
発がん性　：データなし
生殖毒性　：データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露）：分類対象外
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露）：分類できない

１２．環境影響情報

生殖毒性
水生環境急性有害性　：データなし
水生環境慢性有害性　：データなし
残留性･分解性　：データなし
生体蓄積性　：データなし
土壌中の移動性　：データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
焼却する場合は、廃ガス処理装置付きの焼却設備（800℃以上）にて焼却、又は非危険廃棄物として埋め立てる。

１４．輸送上の注意

国際規制
国連番号　：なし
品名（国連輸送品名）　：非該当
国連分類　：該当しない
容器等級　：該当しない
海洋汚染物質　：該当しない
国内規制
輸送上の要求事項　：特記事項なし
輸送の特定の安全対策及び条件：輸送作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。
海上規制情報　該当しない
UN No.　該当しない
航空規制情報　該当しない
UN No.　該当しない

１５．適用法令

化審法	：既存化学物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	：産業廃棄物
労働安全衛生法	：第 57 条の 2 の通知対象物質に該当しない
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）	：第 2 条の指定化学物質に該当しない
高圧ガス保安法	：適用を受けない
消防法	：非危険物
毒劇物取締法	：適用を受けない
船舶安全法	：適用を受けない

１６．その他の情報

引用文献

原料メーカーのＭＳＤＳ
1）伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会（1980）P.116
2）伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会（1980）P.110

その他

・危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。
・この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
・この製品安全データシートは日本国内向けに作成したものですので、無断での翻訳及び海外向けの交付はご遠慮下さい。製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制等について事前にご確認ください。
・製品の特性等に関するお問い合わせは、ご購入先の支店･営業所または品質保証課までお願いします。

記載内容の問合せ先

日本プラスチック工業株式会社
愛知県小牧市東田中字西田 100-1
品質保証課
電話番号： 0568-72-2355　　FAX 番号： 0568-73-7987

CS-H-1810-12-2-V10
No. 44644　－1646
2022年　3月　18日

有限会社いどや　御中

試　験　成　績　書

日本プラスチック工業株式会社

性能項目		規格値	種類・呼び径		
			水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP25	水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP40	水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP50
外観及び形状		内外面は滑らかで、使用上支障となるキズ、割れ、曲がりなどの欠点がないこと	良	良	良
寸法		適用規格による	適合	適合	適合
引張降伏強さ		23℃における引張降伏強さが45MPa以上(VP) 23℃における引張降伏強さが40MPa以上(HIVP)	適合	適合	適合
耐圧性		漏れ、その他の欠点があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
偏平性		割れ及びひびがあってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
ビカット軟化温度		76℃以上	適合	適合	適合
不透明性		可視光透過率が0.2%以下	－	－	－
耐衝撃性		異常があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
浸出性	濁度	0.5度以下	適合	適合	適合
	色度	1度以下	適合	適合	適合
	有機物(TOC)	1mg/L以下	適合	適合	適合
	鉛	0.008mg/L以下	適合	適合	適合
	亜鉛	0.5mg/L以下	適合	適合	適合
	残留塩素の減量	0.7mg/L以下	適合	適合	適合
	臭気	異常があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
	味	異常があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
適用規格			JIS K6742	JIS K6742	JIS K6742
合否の判定			合格	合格	合格

CS-H-1810-12-2-V10
No. 44644　－1647
2022年　3月　18日

有限会社いどや　御中

試　験　成　績　書

日本プラスチック工業株式会社

性能項目		規格値	種類・呼び径		
			水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP65	水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP75	水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP100
外観及び形状		内外面は滑らかで、使用上支障となるキズ、割れ、曲がりなどの欠点がないこと	良	良	良
寸法		適用規格による	適合	適合	適合
引張降伏強さ		23℃における引張降伏強さが45MPa以上(VP) 23℃における引張降伏強さが40MPa以上(HIVP)	適合	適合	適合
耐圧性		漏れ、その他の欠点があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
偏平性		割れ及びひびがあってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
ビカット軟化温度		76℃以上	適合	適合	適合
不透明性		可視光透過率が0.2%以下	－	－	－
耐衝撃性		異常があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
浸出性	濁度	0.5度以下	適合	適合	適合
	色度	1度以下	適合	適合	適合
	有機物(TOC)	1mg/L以下	適合	適合	適合
	鉛	0.008mg/L以下	適合	適合	適合
	亜鉛	0.5mg/L以下	適合	適合	適合
	残留塩素の減量	0.7mg/L以下	適合	適合	適合
	臭気	異常があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
	味	異常があってはならない	異常なし	異常なし	異常なし
適用規格			JIS K6742	JIS K6742	JIS K6742
合否の判定			合格	合格	合格

CS-H-1810-12-2-V10
No. 44644　－1648
2022年　3月　18日

有限会社いどや　御中

試　験　成　績　書

日本プラスチック工業株式会社

性能項目		規格値	種類・呼び径		
			水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP125	水道用耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP150	
外観及び形状		内外面は滑らかで、使用上支障となるキズ、割れ、曲がりなどの欠点がないこと	良	良	
寸法		適用規格による	適合	適合	
引張降伏強さ		23℃における引張降伏強さが45MPa以上(VP) 23℃における引張降伏強さが40MPa以上(HIVP)	適合	適合	
耐圧性		漏れ、その他の欠点があってはならない	異常なし	異常なし	
偏平性		割れ及びひびがあってはならない	異常なし	異常なし	
ビカット軟化温度		76℃以上	適合	適合	
不透明性		可視光透過率が0.2%以下	―	―	
耐衝撃性		異常があってはならない	異常なし	異常なし	
浸出性	濁度	0.5度以下	適合	適合	
	色度	1度以下	適合	適合	
	有機物(TOC)	1mg/L以下	適合	適合	
	鉛	0.008mg/L以下	適合	適合	
	亜鉛	0.5mg/L以下	適合	適合	
	残留塩素の減量	0.7mg/L以下	適合	適合	
	臭気	異常があってはならない	異常なし	異常なし	
	味	異常があってはならない	異常なし	異常なし	
適用規格			JIS K6742	JIS K6742	
合否の判定			合格	合格	

試験報告書

2022年3月18日

日本プラスチック工業株式会社
品質保証課

1-3　試験名　ビカット軟化温度試験
試験日　2022年2月18日
試験方法　JIS K6741による
昇温速度　50℃/h
試験荷重　50N
チャート紙　別紙参照

試験結果

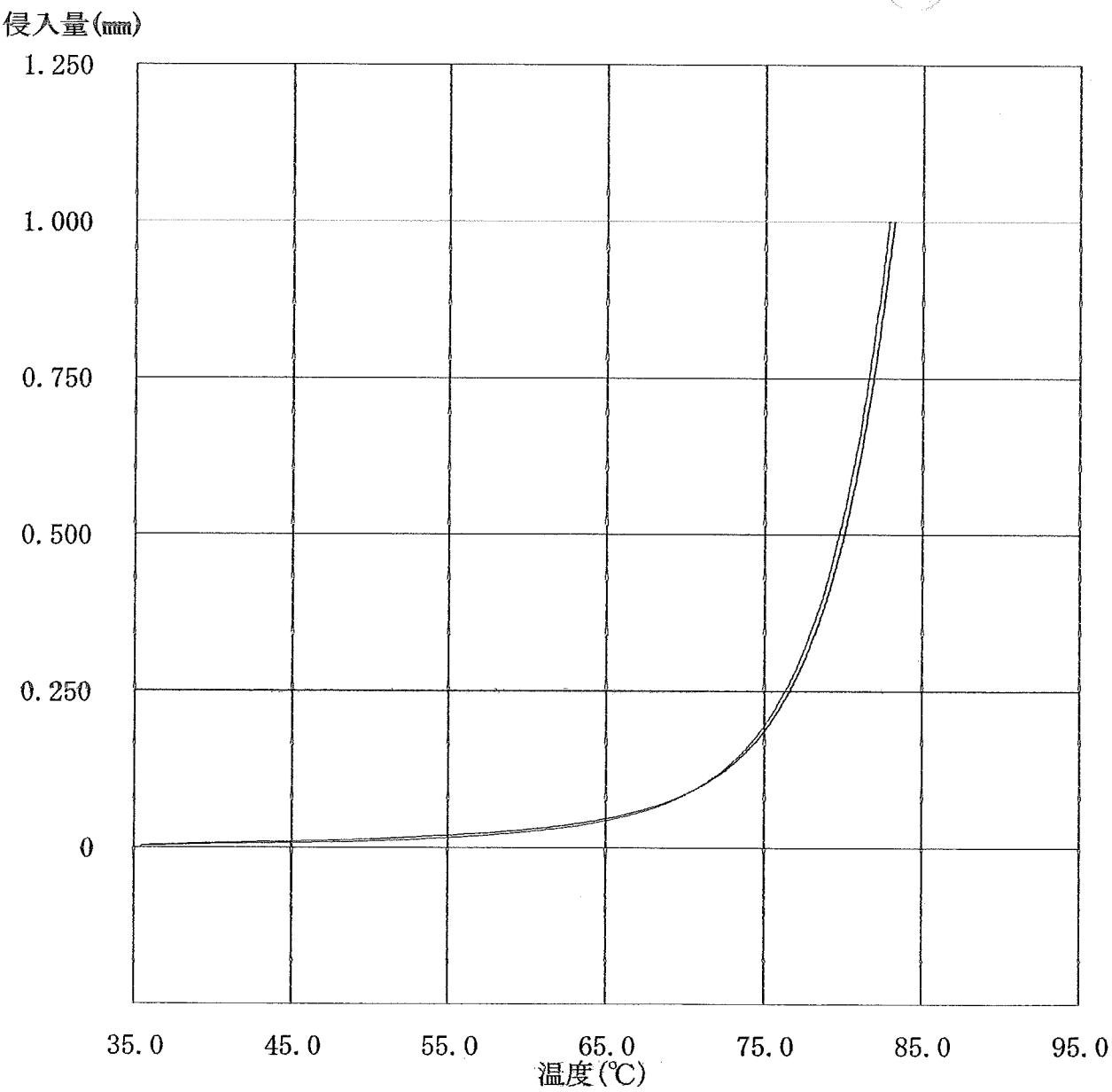
呼び径	試験番号	温度(℃)		規格値(℃)	合否判定
		測定値	平均値		
20 (HIVPW20)	①	83.2	83.1	76以上	合格
	②	82.9			

試験状況

VICAT SOFTENING TEMPERATURE DATA

試験年月日 2021-11-15　　印字年月日 2021-11-15　　最大侵入量　1.00mm
測定開始時間 11:21:37 終了時間 12:19:28
試験 No. # 1
試験開始温度　35.0 ℃
昇温速度　50.0 ℃/ h
測定者名
備　考

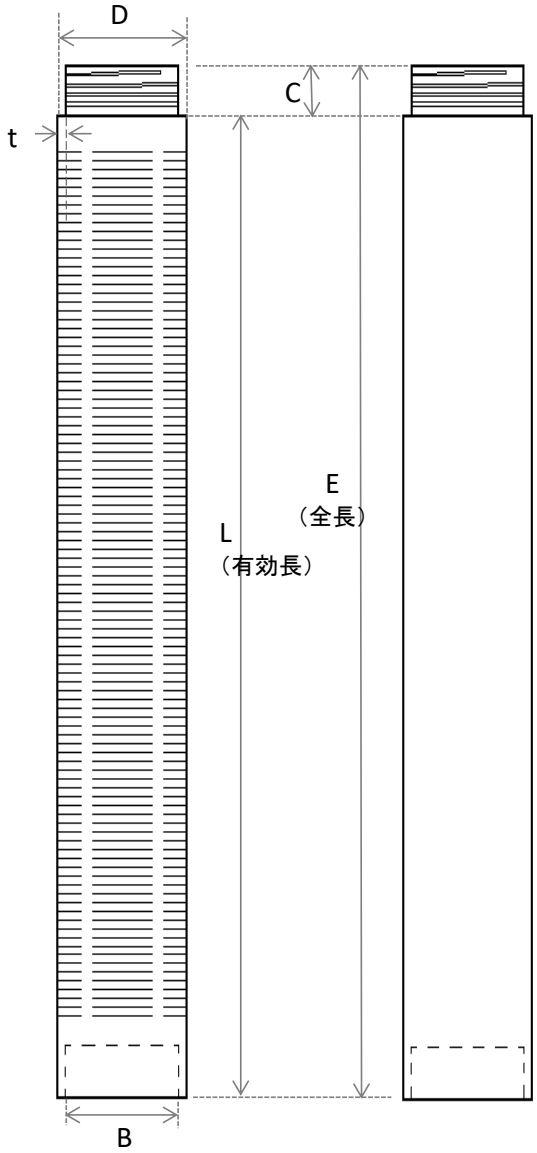
サンプルネーム	HOLD温度(℃)	平均(℃)	差	試料幅(mm)	試料高(mm)	荷重(N)
CH-1 HIVPW20	83.2	0 0=83.1	0=0.3	10.00	10.00	50
CH-2 HIVPW20	82.9	0		10.00	10.00	50



井戸用PVCパイプ　寸法表

2022/5/9

〒285-0841千葉県佐倉市下志津908番地
有限会社　いどや



単位mm

25シリーズ												
	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS25-050	25	32	500	525	25	3.5	384	235.8	10.48	0.22	3方向
	BS25-100	25	32	1000	1025	25	3.5	840	235.8	10.48	0.44	3方向
	BS25-200	25	32	2000	2025	25	3.5	1764	235.8	10.48	0.88	3方向
無孔管	BM25-050	25	32	500	525	25	3.5				0.22	
	BM25-100	25	32	1000	1025	25	3.5				0.44	
	BM25-200	25	32	2000	2025	25	3.5				0.88	

単位mm

40シリーズ												
	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS40-050	40	48	500	545	45	4	512	249.6	11.09	0.36	4方向
	BS40-100	40	48	1000	1045	45	4	1120	249.6	11.09	0.72	4方向
	BS40-200	40	48	2000	2045	45	4	2352	249.6	11.09	1.43	4方向
無孔管	BM40-050	40	48	500	545	45	4				0.38	
	BM40-100	40	48	1000	1045	45	4				0.77	
	BM40-200	40	48	2000	2045	45	4				1.54	

単位mm

50シリーズ

	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS50-050	51	60	500	550	50	4.5	512	271.6	12.06	0.51	4方向
	BS50-100	51	60	1000	1050	50	4.5	1120	271.6	12.06	1.02	4方向
	BS50-200	51	60	2000	2050	50	4.5	2352	271.6	12.06	2.04	4方向
無孔管	BM50-050	51	60	500	550	50	4.5				0.54	
	BM50-100	51	60	1000	1050	50	4.5				1.09	
	BM50-200	51	60	2000	2050	50	4.5				2.19	

単位mm

65シリーズ

	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS65-050	67	76	500	550	50	4.5	512	271.2	12.05	0.72	4方向
	BS65-100	67	76	1000	1050	50	4.5	1120	271.2	12.05	1.44	4方向
	BS65-200	67	76	2000	2050	50	4.5	2352	271.2	12.05	2.88	4方向
無孔管	BM65-050	67	76	500	550	50	4.5				0.72	
	BM65-100	67	76	1000	1050	50	4.5				1.44	
	BM65-200	67	76	2000	2050	50	4.5				2.88	

単位mm

75シリーズ

	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS75-050	77	89	500	545	45	5.9	512	270	12.00	1.01	4方向
	BS75-100	77	89	1000	1045	45	5.9	1120	270	12.00	1.98	4方向
	BS75-200	77	89	2000	2045	45	5.9	2352	270	12.00	3.95	4方向
無孔管	BM75-050	77	89	500	545	45	5.9				1.07	
	BM75-100	77	89	1000	1045	45	5.9				2.15	
	BM75-200	77	89	2000	2045	45	5.9				4.31	

単位mm

100シリーズ

	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS100-050	100	114	500	545	45	7.1	512	254.4	11.31	1.56	4方向
	BS100-100	100	114	1000	1045	45	7.1	1120	254.4	11.31	3.11	4方向
	BS100-200	100	114	2000	2045	45	7.1	2352	254.4	11.31	6.14	4方向
無孔管	BM100-050	100	114	500	545	45	7.1				1.66	
	BM100-100	100	114	1000	1045	45	7.1				3.33	
	BM100-200	100	114	2000	2045	45	7.1				6.67	

単位mm

125シリーズ

	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS125-050	125	140	500	545	45	7.5	640	264.5	11.76	2.18	5方向
	BS125-100	125	140	1000	1045	45	7.5	1400	264.5	11.76	4.37	5方向
	BS125-200	125	140	2000	2045	45	7.5	2940	264.5	11.76	8.74	5方向
無孔管	BM125-050	125	140	500	545	45	7.5				2.18	
	BM125-100	125	140	1000	1045	45	7.5				4.37	
	BM125-200	125	140	2000	2045	45	7.5				8.74	

単位mm

150シリーズ

	品番	内径	外径	有効長	全長	ネジ長	肉厚	スリット数	開孔角度	開孔率	質量	備考
		B	D	L	E	C	t	箇所		%	Kg	
有孔管	BS150-050	146	165	500	545	45	9.6	768	264.5	11.76	3.28	6方向
	BS150-100	146	165	1000	1045	45	9.6	1680	264.5	11.76	6.56	6方向
	BS150-200	146	165	2000	2045	45	9.6	3528	264.5	11.76	13.12	6方向
無孔管	BM150-050	146	165	500	545	45	9.6				3.28	
	BM150-100	146	165	1000	1045	45	9.6				6.56	
	BM150-200	146	165	2000	2045	45	9.6				13.12	

※寸法･質量は基準値の値です　製造過程で多少の誤差が生じます。